

災害廃棄物の受入れに関する説明会について

1. 実施状況

対象	期 日	開催時間	場 所	参加人数
金沢市町会連合会	9月6日(木)	10:00~11:00	全員協議会室	51人
金沢市校下婦人会連絡協議会		14:00~14:40		48人
俵・医王山・夕日寺校下町会連合会		19:00~20:30		45人
市民説明会	9月7日(金)	19:00~21:30	金沢歌劇座	130人
市民説明会	9月9日(日)	14:00~21:30	金沢市文化ホール	110人
合 計				384人

2. 内 容

(1) 町会連合会・校下婦人会連絡協議会

- (内 容) ① 受入れ方針等説明 (市長・環境局長・環境政策課長ほか)
② 質疑応答

(主な質問・意見) ・安全との説明を受けても不安な気持ちがどうしてもある。
・放射線量の測定を徹底してほしい。
・災害廃棄物の安全性は確認されたと思う。戸室新保の住民の理解が得られたなら受入れて被災地に協力できればよい。

(2) 俵・医王山・夕日寺校下町会

- (内 容) ① 受入れ方針等説明 (市長・環境局長・環境政策課長ほか)
② 質疑応答

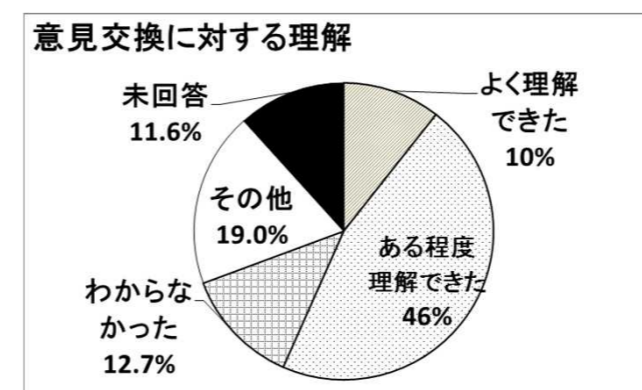
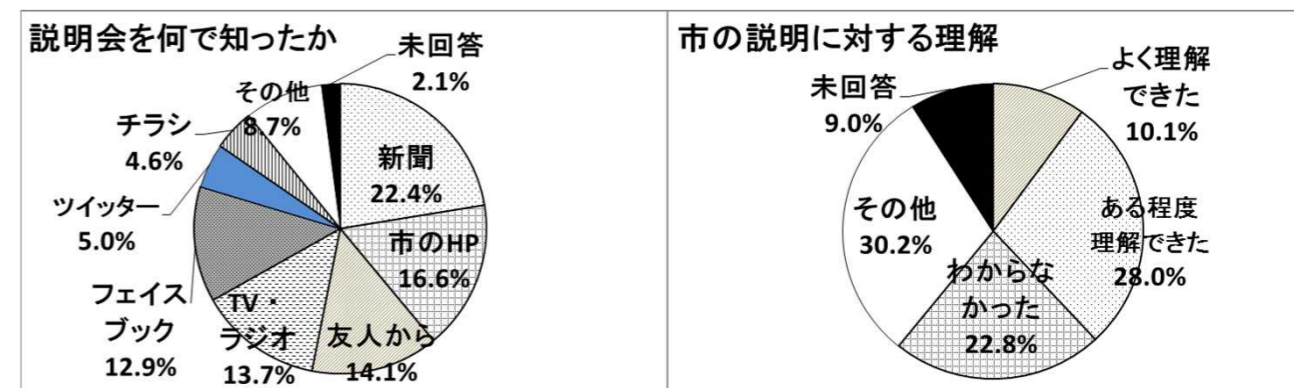
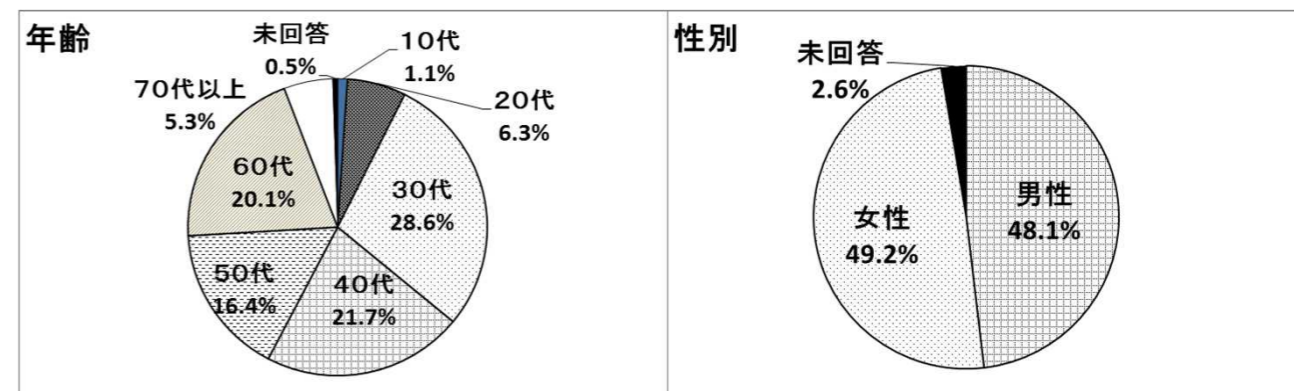
(主な質問・意見) ・災害廃棄物は、今建設中の埋立場に埋められないのか。
・なぜ、安全だという「漁具・漁網」を金沢市で受入れるのか。
・放射性物質の危険性がないことは理解するが、風評被害の心配がまだ払拭されない。
・地元がリスクを背負うので、絆だけでは理解できない。
・震災以降は安全と言われても誰も信用しない。
・子や孫のことを考え地区の中でも不安やいろんな声があり、簡単に納得できる問題ではない。

(3) 市民説明会

- (内 容) ① 広域処理の必要性 (環境省中部地方環境事務所)
② 受入れ方針等説明 (市長・環境局長・環境政策課長ほか)
③ 質疑応答

(主な質問・意見) ・市長の思いはわかるが、健康などを脅かす要素のあるものは受入れてほしくない。
・30年後、40年後の健康被害などの責任をどうとるのか。
・放射能濃度の数値が低くても、本当に安全性が確保されているかどうかはわからない。
・安全・安心ならそもそも監視体制は必要ない。
・子どもを安心して産み育てられる金沢をめざしてほしい。

3. 市民説明会のアンケート集計結果



アンケート配布数 240枚
回答数 189枚
回答率 78.8%

(主な質問・意見)

- ・災害廃棄物は被災地で処理すべきで、運搬費用をかけてまで広域処理すべきではない。
- ・観光都市である金沢がやることではない。風評被害をどうするのか。
- ・子どもたちへの影響が心配。次世代に負の遺産を残すわけにはいかない。
- ・低線量でも内部被ばくが怖い。
- ・基準以下でも放射性物質にかわりないのではないのか。
- ・被災地の人たちを受入れることにお金をかけるべき。
- ・反対する人に数字を示してもすれ違うだけ、ギャップを埋める工夫が必要。
- ・受入れ賛成意見の発言が少なかったが、大半の市民は賛成だと思う。
- ・周辺の河川、地下水の検査も月1回して公表してほしい。